

広報おうむ

The Public Relations Magazine Vol.987

OUMU

11

2013
November



佐藤フユ^{さん} 満100歳

雄武町特別養護老人ホーム「雄愛園」に入所している佐藤フユさんが
10月20日(日)、満100歳の誕生日を迎えました。



サケに迫る

河川で生まれ、外洋で長旅を続けながら成長し、産卵のため生まれ故郷に戻る。淡水、海水、淡水と一生の間、何度も生活の場を変えるサケ。世界を旅する中で、サケはどのような景色を見るのでしょうか。きっとサケは私たちの知らない世界をたくさん知っているはず。サケに迫る「こと」で、そんなサケの世界観をのぞいてみませんか。サケの生活史はさまざまなことを私たちに語りかけ、新たな世界への導きとなるのですから。

平成 25 年度雄武町栄典表彰

町の発展に尽くした 8 人を表彰

雄武町栄典条例に基づく栄典表彰審査委員会の厳正な審査のもと、
多年にわたり各分野で貢献された 8 人に表彰を行いました。
受章された方々に心からお祝い申し上げ、永年のご尽力に深く敬意を表します。

功績表彰



◎元北オホーツク農業協同組合
代表理事専務（在職 38 年 0 か月）

遠藤 悦朗さん

◎元雄武消防団団員（在職 29 年 4 か月）

（故）松田 一春さん

永年勤続表彰

◎統計調査員（在職 20 年 3 か月）

笠井 嘉勝さん

◎栄典審査委員会委員（在職 20 年 1 か月）

光成 良行さん

◎消防団班長（在職 20 年 7 か月）

館山 哲也さん

◎消防団班長（在職 20 年 2 か月）

島谷 速仁さん

※在職年月は、11 月 3 日現在。

一般表彰

◎平田 藤三郎さん

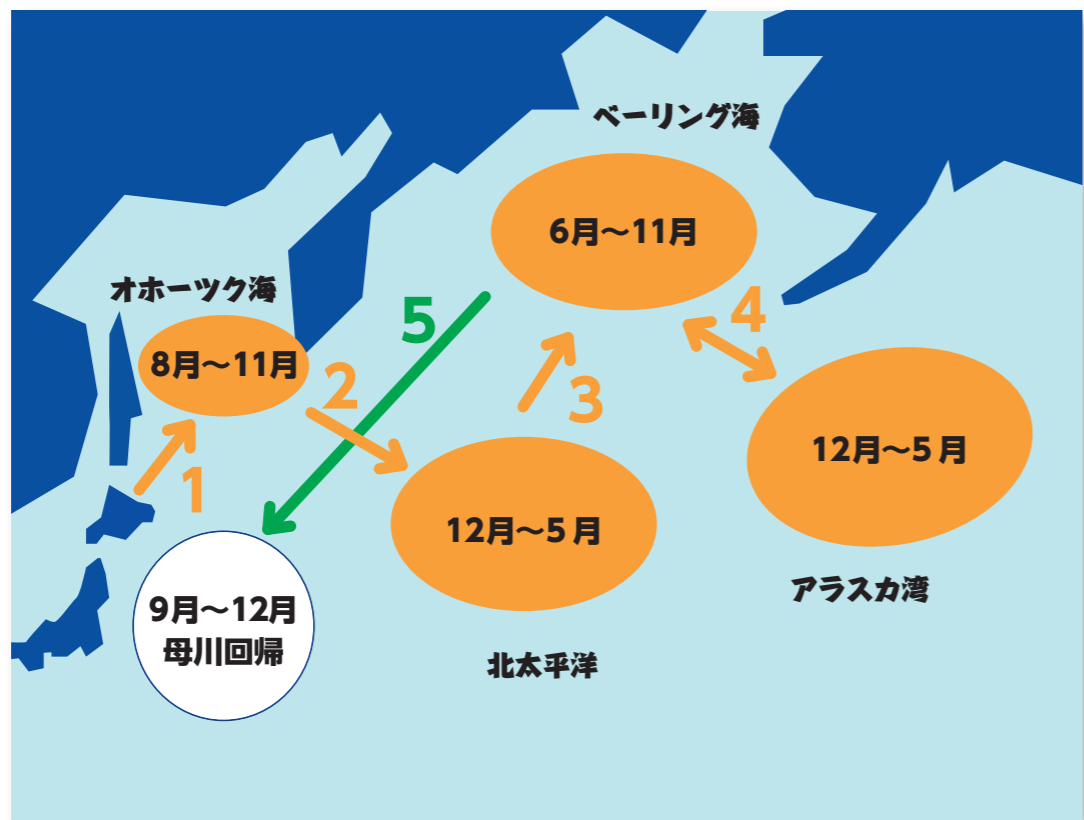
宮下町自治会長として永年、町民の親睦融和と生活向上のため、多大に貢献されました。

◎中島 由紀夫さん

北浜町、潮見町自治会長として永年、町民の親睦融和と生活向上のため、多大に貢献されています。

世界を旅し、一生を終えるサケ

1 3月～5月に放流されたサケの稚魚は初夏までに北海道沿岸を離れ、オホーツク海南部へ。ここで晩秋まで過ごします。
 2 北太平洋西部に移動してここで冬を越します。
 3 6月までにベーリング海へ移動し、ここで先輩サケたちと合流。11月ころに南下して、北太平洋東部(アラスカ湾)へ移動します。
 4 ここで冬を越し、春まで過ごし、6月にはまたベーリング海へ戻り、11月にはまたアラスカ湾へ南下します。この季節による南北移動を繰り返して成魚になります。
 5 いよいよ成魚として成熟したものが、日本の沿岸の川に戻ってきます。サケが成魚になり母川に戻る年齢は、普通3～5年で一番多いのは4年魚です。



サケを知る

雄武漁港に水揚げされたサケ。このサケはどこから来てるのだろうか。調べていくと、サケ目サケ科サケ属のサケ(通称シロサケ)には、多くの謎が隠されていたのです。

サケは本当に生まれた川に戻るのか

春夏秋冬、変わりゆく季節の中で、サケはどのような一生を送るのでしょうか。サケの稚魚(子ども)は世界を旅する中で大人になり、産卵行動で母川に戻り、*ホッチャレとなってその一生を終えます。サケが約3万キロの長旅を終え、母川に戻ることができるのは、子どもころの母川の記憶を思い出すからと考えられています。サケの母川回帰(サケが母川に戻ること)メカニズムには、まだ多くの謎が残されているのです。
 ※ホッチャレ＝繁殖を終えたサケ。

神からの贈り物「カムイチェエプ」

遠い昔の縄文時代から、人々はサケの昇る川でサケの恵みに感謝しながら生活してきました。アイヌの人々はサケを「カムイチェエプ(神様の魚)」と呼んだのです。神様にお祈りをしなければ、サケを獲ることは許されませんでした。

自然と科学

明治時代から日本の経済発展とともに国土開発や都市化が進み、自然環境が悪化してサケが昔のように自分の力で子孫を残すことが難しくなりました。それを心配した先人たちは、環境を守り、残された自然を有効に活用する方法として工夫を重ね、現在の人工放流技術にたどりつきました。自然のサケに学ぶことで、現在のふ化放流技術は確立し、ふ化

場魚の大量生産や安定的なサケ資源の確保が実現してきました。その一方、時代による環境変化や公害、商業漁業振興の流れの中で、野生魚は減少していきました。現在も野生魚が減少傾向を続けるのに対し、ふ化場魚は著しく増加し、北太平洋に存在するシロサケの半分以上をふ化場魚が占めています。

こうした現状は、私たちに自然と科学のあり方を考えさせます。サケを取り巻く環境は、時代とともに変化してきました。私たちも時代の变化に常に対応し、より良い将来の豊かな資源管理を考えていかなければならないのです。

エコシステム

サケやサケを餌とするクマなどの動物、微生物、植物、そして人々。私たちすべての生命がエコシステム(生態系)としてつながっています。サケを見て、森を想像してください。クマが餌として食べたサケの死骸は森に捨てられると、そのサケの栄養素が森を豊かにします。豊かになった森から流れだすさまざまな成分が、川や海の大気な栄養になり、成長したサケ

ケが海の栄養を森に戻すというサイクル。サケは地球全体のエコシステムにおいて、巡りめぐって「栄養エネルギーの運搬」という大きな役割を果たしているのです。また、北海道で放流する稚魚約10億尾の内、北海道に戻るサケは3000～5000万尾ほど。サケの数を百尾と考えると3～5尾しか戻らない訳ですから、サケは自然の恵みをたくさん含んだ大変貴重な存在なのです。そして一方では、貴重なサケを増やすための放流技術が自然生態系に影響を与えてきた一面もあります。こうした事実を受け止め、まずは私たちが住む地域の自然をより深く知ることが大切です。川や森を歩き回り、いま生息している生物を観察したり、自然体験を積んだり、植樹運動に参加したり、そのような取り組みの中から雄武町の自然の姿が見えてくるのです。
 生態系は、私たちのつながりによって維持されています。1つの種が絶滅したり、また加わったりしただけで、生態系の姿は変化します。
 こうしたつながりがあることを忘れていないで、自然と私たちのかかわり合いを深めていかなければならないのです。

インタビュー

幌内ふ化場では、人の手で卵をふ化させ元気な子どもの魚になる手助けをしています。4年後にたくさんのサケが雄武町に回帰することを願って、卵を育てているんです。

※幌内ふ化場から放流される2割の稚魚に耳石標識技術が施されています。この技術により得られたサケの回遊経路などの情報が、資源の効率的な増殖や管理などに役立つため、将来のきめ細やかな資源管理への利用が期待されています。また、この技術などにより、上の図に示したサケの回遊ルートも判明したと言われています。



北見管内さけ・ます増殖事業協会
 幌内ふ化場長
 たかはしともゆき
 高橋 智幸さん



獲る

海のかな「定置網」

「定置網」という言葉は、明治時代に初めて法律に規定されてから、現在まで北海道においてサケを漁獲するための漁具として広く知れ渡っています。さけ定置網漁業は、北海道の主力漁業のひとつなのです。

雄武町の定置網

雄武町で使用される定置網は、漁業者の志向により形は個々に相違しますが、一度入った魚は絶対に逃がさないような工夫が施されています。海中の上部から下部にかけて、浮網・中層・底層網という区分をすることができますが、雄武町の定置網の多数が「中層・底層網」と呼ばれるスタイルです。さらに、魚獲り部が網の両端についた両落としと呼ばれるスタイル（下図参照）は、両端からサケの漁獲がされ、潮流が左右相半ばする漁場での漁獲効果向上に役立っています。

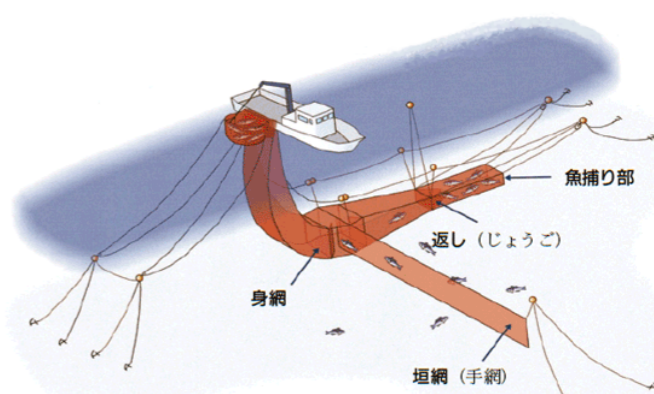
定置網の部位名称

定置網は垣網、身網、返し、魚獲り部の4つの部位から成り立っています。

定置網漁業の重要性

定置網漁業はサケの回遊の度合いによって豊漁・不漁の差があるため「受け身の漁業」として効率性が問題にされま

- ①来遊してくる魚の通り道をふさぐため、陸岸から沖合に向けて「垣網」を張ります。
- ②海岸線と並行して回遊してきたサケは、垣網にさえぎられて網ぞいに沖合へ出て行くので、自然に「身網」に入ります。
- ③魚獲り部には魚が逃げない「返し」の仕組みがあり、網に入ったサケは船上の漁業者たちにより、たぐり上げられて漁獲されます。



参考：北海道の漁業図鑑（北海道水産業改良普及職員協議会編）※一部改良して使用

増え続けたサケ

回帰に向かうすべてのサケを漁獲する訳ではありませんので、環境保護に適した沿岸漁業の一つとして見直されてきています。遠洋漁業の生産量の落ち込みが激しい中、管理型漁業の推進に伴い、沿岸の基幹産業としての定置網漁業の重要性は日々増してきています。

ふ化技術の進歩により、放流魚の数は

時代とともにどんどん増えていき、特に道内でもオホーツク海への来遊量はほかと比較しても類を見ない水準を示し続けました。そんな中、30年ほど前にふ化技術は近代化を迎え、放流数の増加はストリップしました。しかし、それでもオホーツク海へのサケの戻り量は増え続けました。どうして一定数の稚魚を放流しているのに、サケは増え続けたのでしょうか。平成元年から8年にかけて、漁獲量が急上昇していることに着目してみます（上図参考）。このことは、オホーツク海へ来るサケが増え、雄武町でのサケ漁獲量も増えたと推測できます。

私たちが目指す

放流技術は日々改良され、サケの回遊経路はしっかりと追跡されていくでしょう。経路がわからなくなるとは、サケ来遊量の予測に支障をきたし、漁業者の操業に直接関わる深刻な話だからです。また、温暖化などの環境変化に強い野生魚を大切にしていこうと動きも出ていて、北見管内さけ・ます増殖事業協会でも野生魚の生息調査を行っています。町でも「地域マリンビジョン」を掲げ、将来に豊かな資源を残す取り組みをしているなど、みんなでサケを守る努力をしています。これからも、地域の川を汚さないようにしたり、ごみを減らし資源の節約をしたり、わずかなことでも自然を守る気持ちを持ち続けることが大切なのです。

では、なぜこの時期にサケの来遊量が増えたのでしょうか。

生存率の増加と温暖化

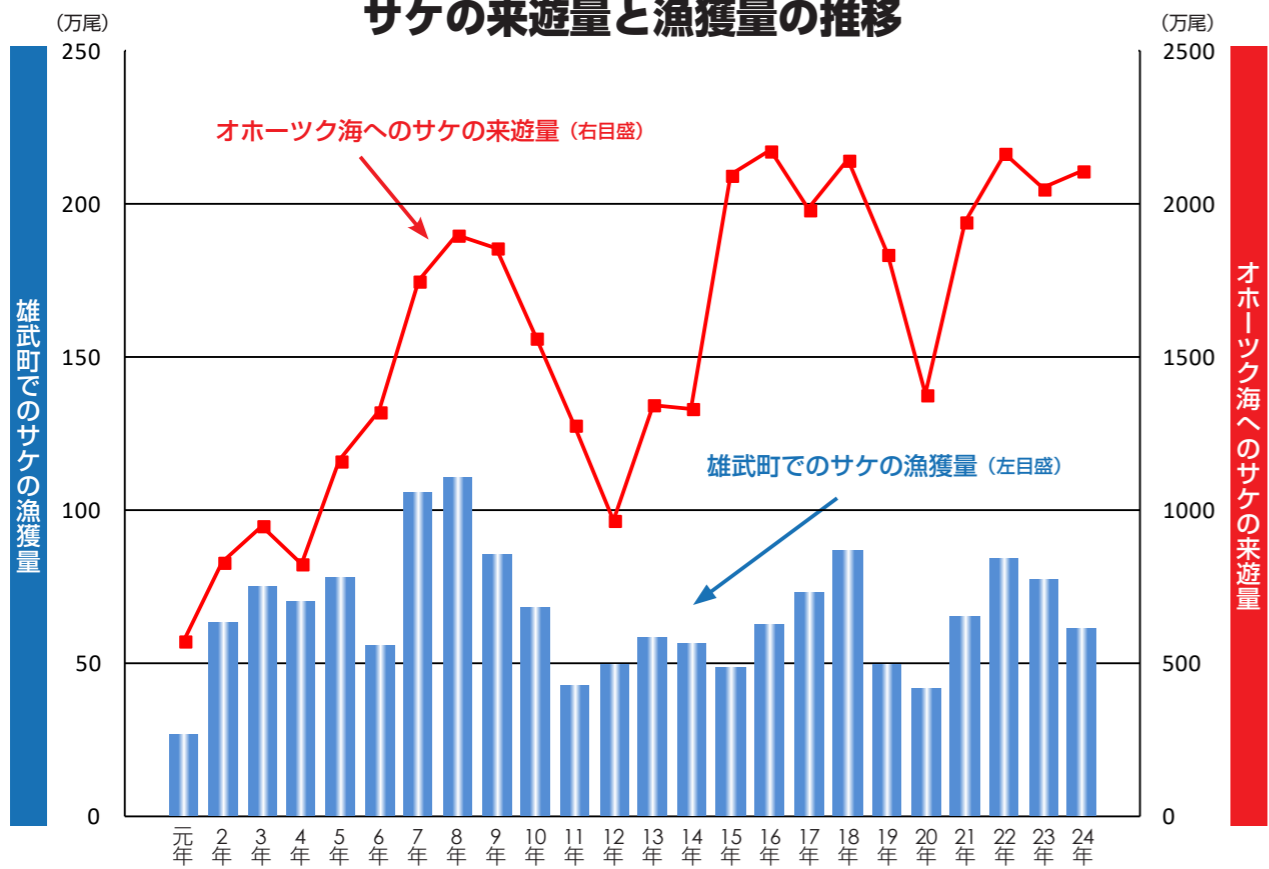
この時期にサケが増えた謎。それは、ふ化放流以外にもさまざまな自然の影響、とりわけ温暖化の影響ととらえる一説があります。これは温暖化がサケの母川回帰の手助けをし、オホーツク海へ戻るサケの量が増えたという一つの考え方です。

今後のサケを増やすために

これだけ聞くと温暖化がいい話だと思えますが、サケが厳しい環境の海をどんどん移動して住みやすい場所を探している中で、これ以上温暖化が進むと今まで住みやすかった環境が悪くなり、サケがオホーツク海から逃げ出す可能性があるのです。もしかすると、百年後にはサケが北海道からいなくなってしまうという

百年後は遠い未来ですが、こうした取り組みは次世代につながっていくのです。私たちも地域を大切にすることを忘れず、サケとともに歩いていきたいと思います。

サケの来遊量と漁獲量の推移



資料提供 北見管内さけ・ます増殖事業協会、雄武漁業協同組合

海の男たちに密着。



09 沖網、中網、丘網の3か所の網を巡って漁を終え帰港。この日の豊漁に、乗組員から笑みがこぼれます。



10 港に到着後、すばやくサケが「タモ網」により水揚げされ、すぐに選別。漁師、浜のお母さん、漁協の職員が協力して出荷に向け作業を行います。



11 氷がいっぱい入ったステンラスタックに、新鮮なサケを入れていきます。その後ろでは、選別作業が行われています。鮮度保持が徹底されている現場を肌で感じました。



12 フォークリフトにより、ステンラスタックごと運搬車に積んでいき、サケは各水産加工場へと出荷されていきます。



05 サケの漁獲ポイントに到着。仕掛けておいた定置網の「取り玉」と呼ばれる部分を取り、船と網を固定し徐々に網を起こしていくと海面上に定置網が浮いてきます。



06 海の男たちが、1つの網を懸命に船に引き揚げ、サケを船に引き寄せていきます。



07 船にサケを引き寄せると、海面上にサケがバシャバシャと音を立てて姿を現します。あとは「マクリ」を利用してサケを魚倉に入れます。



08 「マクリ」で魚倉に取りこまれるサケ約300尾。生きのよい大量のサケが暴れまわる姿は大迫力です。



01 早朝4時、出港まで間もなく。船に乗り込むとすぐに作業が始まります。



02 サケの鮮度を保持するため、魚倉に氷を入れておきます。



03 氷の積み込みが完了。と思ったら、何やら網目の道具が。これは「マクリ」といって、サケを取る道具の1つ。



04 ついに出港。船は思ったより激しく左右に揺れ、これから始まる漁への期待が高まります。



第八東豊丸



雄武のサケが自分の子どものようにかわいくて仕方がない。

漁師たちの思いを感じてほしい。

―漁師になるきっかけは

3人兄弟の長男として昔からおやじの背中を見てきたけど、本当に漁師として飯を食っていくって思ったきっかけはサケとの出会いだね。昭和49年に、うちの漁業形態が変わって定置網をやるようになった。そこでサケに魅せられた。当時のサケは今で言うツブナはなくて、全部銀毛だったって言ってもいいくらい大きいし、ビカビカ光ってた。秋サケに夢中になっていったね。

―漁師歴35年。今まで大変な苦労があったと思うのですが

確かに不漁に苦労した時期はあったね。でも、おれには共同定置の仲間がいて、みんなで支えあって乗り越えてきた。かけがえない仲間たちがずっとそばにいてくれたんだ。自分を含め、漁師みんながそうだけど、これで「飯を食ってく」って決めたからにはやり遂げる。自分の決めた道だから、道を踏み外したくないし、これからも仲間とともに歩み続けるよ。

―一番のやりがいは

豊漁のときだね。サケを獲るための定置網の話だけど、網って全部一緒だと思う？ 実は、網の形はそれぞれの船頭がそれぞれの漁場に合った網を工夫して作っているんだ。だからまったく同じ網っていうのは存在しない。海底や水深、それにサケの通り道のこと頭に入れて

「雄宝」の名付け親

長谷川 一夫さん

はせがわ・かずお
(東浜町) 54歳、雄武町出身。漁師歴35年。サケ定置部会長、雄宝プロジェクト委員会会長。座右の銘は「一期一会」

網を作らないといけない。それに網はシケの影響で毎年補修したり、時には新しく作り直したりしなくてはならないんだけど、代々受け継がれてきた網には先人の船頭たちの思いが込められている。自分自身も前の船頭から網を受け継いだ。そこには経験が詰まれている。だから安易に網の形は変えられないんだけど、やっぱり時代の変化はつきまとう。だから、自分たちの責任で網を時代に合った形にしていかななくてはならない苦労があるんだ。でも、だからこそ定置網には個性が表れるし、漁師の思いが込められる。漁獲量にもかわってくるので責任も重大。そういうのもあって自分が設計した網でたくさんサケが獲れた時が、一番喜びを感じる瞬間なんだ。

―今でも難しいと感じることは

海の状況が毎日変わるので、現場での状況判断が難しいよ。それに最近温暖化の影響なのかわからないけど、温かい海でとれるはずのブ

リが獲れたり、サケの魚道が変わってきているっていうのを肌を感じるね。そういうのも網を仕掛ける上で今後も考えていかななくてはならない課題かな。あとは、港で稚魚の海中飼育をやっているんだけど、漁獲増加をしていきたいながら、幌内川ふ化放流による増殖事業にも力を入れたいね。そのために、植樹などの取り組みが今後あれば定置部会としても積極的に参加していきたい。漁業者は海と森と川がつながっていることは理解しているよ。

―サケにかける思いとは

雄武の漁師がみんな思っていることだと思っけど、地元サケが一番おいしくていいこの思いを町の人たちにも感じてほしい。日本一うまくいっている自信を持って自分はサケをとってる。地元で愛されるサケになってほしい。サケは雄武の宝です。

―「雄宝」について

雄宝はサケの全漁獲尾数の約1割しかとれないんだ。でもそれはなんでもかと言っと、浜で徹底した選別を行っているから。きめ細かな選別をして、本当に雄宝と言える品質のサケだけを届けているよ。自分たちの選別や雄宝の規格に自信があるからこそ、ブランド化したし、ほかに負けない日本一なんだ。でも北海道全体で銀毛の漁獲量が少なくなってきたのが「雄宝」の漁獲減に影響しているのは事実としてある。でも自分は雄宝の昔から変わらないこの規格を守り続けて、揺るぎない味を届けたい。だってこれが昔から変わらない雄宝なんだから。

―最後に一言

自分が「雄宝」の名付け親だからかもしれないけど、雄武のサケが自分の子どものようにかわいくて仕方がないんだ。だから、地元の人にも漁師の思いを感じてほしい。そして、雄武のサケを食べてほしい。極上の秋味を味わってほしいよ。



メジカ

目と鼻が近いために名付けられたメジカ（目近）。漁獲量は普通の秋サケの数パーセント程度と大変希少なものの、体全体がやわらかく丸みを帯び、上質な脂がのった味わいはまさに最高級品。町を代表するブランドとして全国に定着しています。



雄宝

雄武前浜沖の指定された秋サケ定置網で大切に漁獲される秋サケのうち、銀色に輝く魚体の中でも脂のりが特別に良い3kg以上の秋サケだけを厳選したものにのみ名付けられる雄武の至宝天然鮭。（オス・メスの3kg以上の銀毛、オスのAブナ3kg以上の良品（熟成新巻、山漬けとその加工品））



秋サケ を選別

浜のお母さん厳選！ おいしいサケの選び方

サケを1尾丸ごと買う時は、外観をよく見ることでね。ハラスに厚みがある脂がのった魚を選ぶようにすると、メスは卵に栄養が取られてしまうので、肉質がいいオスを選んだ方がおいしいサケが味わえます。サケは1尾を丸ごとさばくと捨てる場所がない魚なので、いろいろな料理にして楽しむことができる魚。年中いつでも食べることができるのも魅力だけど、やっぱり旬のサケをみんなにも食べてほしいと思っています。



たかみや えりこ
高宮 恵利子さん
(東浜町)

普段私たちが北海道のサケのことを「秋サケ」や「秋アジ」と呼ぶのは、サケが秋の季節に母川に戻るからです。また、秋以外に獲れるサケが時鮭やトキシラズと呼ばれる、脂がのった若いサケ「鮭児」や「メジカ」など、さまざまな呼び名があるサケですが、これらはすべて「シロサケ（標準和名）」の別名なのです。また、外観からの判断基準により、川に入る前の沿岸にいるサケは体表の色が銀白色なので「銀毛」、体表に婚姻色が表れると、ブナ毛と呼ばれ、ブナ毛が強くなる順に、A、B、Cとランクがつけられます。

雄武町の選別規格はとても細かいので、それだけ人員が必要になるのが現状です。そして、その選別を可能にしているのが「浜のお母さん」の存在です。オホーツク管内の共同定置の中で、サケの選別に漁師の奥さんが手伝いに出ている地域はなく、雄武の浜を支えていると言っても過言ではありません。その機敏とした仕分け作業のやさばきに、迷いはありません。家族を思い、漁師の帰港安全を願う。そんな浜のお母さんには、選別のプロとしての確かな自信とプライドがあるのです。

シロサケのさまざまな呼び名

縁の下の力持ち「浜のお母さん」

※婚姻色（繁殖期に現れる特有の色）

選別の種類

選別とは「選り分けること」です。雄武町のサケは雄雌の選別、さらに銀毛、Aブナ、Bブナ、キズ、ピンなど、選別の段階でも細かく仕分けされ、その種類数においては国内でもトップクラスを誇ります。しかし、

サケが水揚げされるとすぐに、定置参画者が総出で選別作業を行うのが昔からの習わしになっていくのが特徴であり、その優れた技術や関係者の思いにより、雄武の浜は支えられているのです。また、鮮度を保ちながら出荷するために、迅速に選別しなければなりませんので、その技術には熟練された経験が必要になるのです。

秋サケ一色の漁港

今年の雄武町のサケ定置網漁は、9月3日に丘網を設置し、同月4日水揚げが開始されました。本格的な冬を迎える11月末ころまでの3か月間の漁港は、秋サケ一色になります。操業漁船は7隻。夜明け前にそれぞれの漁場へ向かう定置船は早朝にかけ帰港し、すぐさま水揚げと選別作業が行われます。

選別方法は地域の特性に合った歴史ある技術の結晶です。各地域の浜の漁獲量や特性に応じた選別が行われているのが現状なので、種類が多いからといってその選別が必ずしも良い選別という訳ではありません。けれども雄武町の場合は、数種類もの規格に基づいて細別されるので、サケを必要としている人のニーズにあった提供ができます。

平成 25 年度秋サケ販売規格

●オス

規格	重量
銀毛	2.6 キロ以上
銀毛 (キズ)	2.6 キロ以上
銀毛 (ピン)	2.6 キロ未満
Aブナ	2.6 キロ以上
B・C・Dブナ	

●メス

規格	重量
銀毛	2.4 キロ以上
銀毛 (キズ)	2.4 キロ以上
銀毛 (ピン)	2.4 キロ未満
Aブナ	
B・C・Dブナ	

水産資源の実情を理解し、消費者が適切な資源管理へ向けた取り組みを行うことも重要です。MSCエコーラベル（海洋管理協議会）とは、適切な資源管理を行

MSCHINKル

総務省家計調査によれば、全国の一世帯当たりの「サケ」の月別購入量（下図1）の中でも群を抜いて9月と10月にかけ、サケが多く購入されていることがわかります。季節を問わず一年を通してお店で購入できるところもサケの魅力ですが、やはり、旬の秋に購入者が増える事実が調査結果からもうかがえます。

年間購入量の推移（下図2）を見ると、平成元年以降のサケの購入量が大きく増加し、10年間で2倍以上になっています。鮮魚全体の購入量が減少傾向で魚離れが推察される中、家庭内の鮮魚食材の主役の座を占めるのは、紛れもなくサケなのです。

旬の味「秋味」

サケを食す

う漁業で獲られた水産物にその旨のマークを表示することで、消費者の視点から海洋環境保全にかかわることのできる仕組みです。このラベルのついた水産物を選択的に購入することで、漁業者や豊かな水産資源を支えることにつながります。こうした商品が増え続ける中、北見地区の定置網漁業や北見管内さけ・ます増殖事業協会などが協力し、MSC認証取得に向け、現在取り組みが行われています。

サケの一生を肌で体験

幌内小学校の児童は、サケの一生を身近に体験する「サーモン学習」という取り組みを行っています。

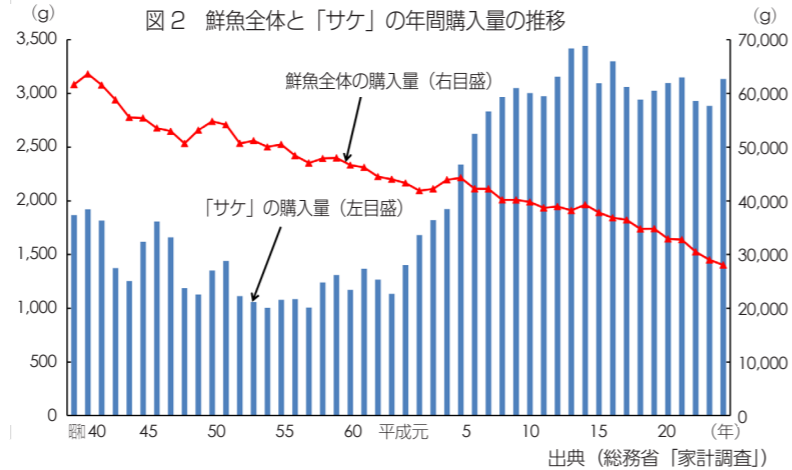
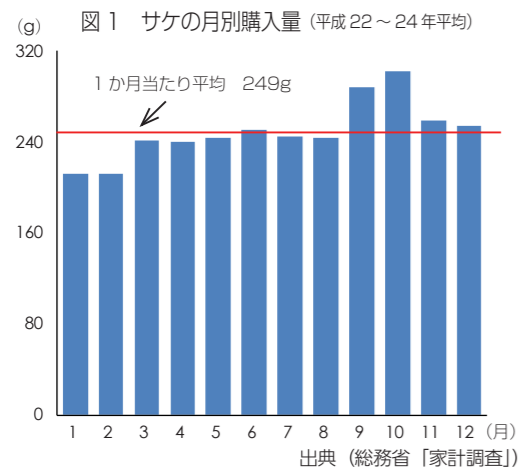
5月17日、卵から自分の手で育てあげた稚魚を幌内ふ化場飼育施設で放流し、9月21日には幌内漁港でサケの水揚げ風景を見学。あんなにかわいく小さかった稚魚が、大人のサケになって雄武に戻ってくることを学びました。また、感動を覚えた児童たちは、サケがさまざまな人の手によって支えられていることも知りました。



↑雄武町子ども育成会などが主催の秋季めだか塾に参加した児童たちは、一生懸命育ててくれた漁師さんに感謝しながら、自分たちで作ったサケ料理を味わっていました。



そして、10月10日には雄武漁協から学校給食用に無償提供されたサケを使った「オホーツク汁」が給食のメニューにありました。雄武漁協の「地元の味を知ってほしい」という思いから実現した地産地消の取り組みです。町内の児童や生徒たちは、こうしたサケの一生に深くかかわる学習を通じ、地域を愛する心をほぐくみ、ひと回りもふた回りも成長しています。



給食の時間がやってきました。今日は雄武産のサケが入った「オホーツク汁」です。「早く、早く」。幌内小の全校児童9人は、待ち遠しそうに眺めています。

取材を通じ、さまざまな角度から「サケに迫る」ことで、いろいろな人たちがサケと深いかわりのあることがわかりました。

「ふ化場」。もし、ふ化放流の技術がなかったら、サケの量はどんどん減り、今のようにサケを食べられなかったかもしれません。

「漁師」。もし漁師がいなければ、だれがサケを獲るのでしょうか。

「漁協」。もし漁協がなければ、サケが市場に出回ることはなかったかもしれません。

「浜のお母さん」。もし浜のお母さんがいなければ、雄武のサケの選別を担うのはだれなのでしょう。

「子ども」。もし子どもたちがいなければ、サケの未来をだれが支えるのでしょうか。

私たちは、それぞれの役目を持ちながら互いに協力し合い、生きています。だれかが欠けてもいけません。

私たちは、社会の中でつながりを求め、人と人との支え合いで生きていかなければならないのです。

もし、「サケ」を通じたこうしたつながりがなければ、私たちは出会うことがなかったのかもしれませんが。この出会いを、そして、こうしたつながりを、今もそして未来も変わらず大切にしていくためにも、私たちは「思いやりの心」を持ち続けなければなりません。私たちの思いはきっと届くはずです。なぜなら、サケは思いを乗せて世界を回遊し、人々のきずなを結ぶ懸け橋となるのですから。

特集「サケに迫る」 おわり

参考文献

帰山雅秀・永田光博・中川大介「サケ学大全」(北海道大学出版会)、羽田野六男「大自然の恵み 天然魚 秋サケの魅力 不安だらけの養殖サーモン」(株式会社北日本海洋センター)、井上喜洋「必見早わかり 定置網技術総覧」(株式会社北日本海洋センター)、北海道大学大学院水産科学研究会 帰山雅秀教授 研究報告「気候変動とサケ資源について」、「秋サケのことがよくわかる秋サケブック」(公益社団法人 北海道さけ・ます増殖事業協会)

参考 Web

「サーモンミュージアム(鮭のバーチャル博物館)」
<http://www.food.maruha-nichiro.co.jp/salmon/>

漁協

浜の
お母さん

子ども

漁師

ふ化場

サケ
を支える



まちのできごと

9/29 第7回雄武の宝うまいもんまつり 秋の味覚を堪能

雄武の秋の味覚を一堂に集めた「雄武の宝うまいもんまつり」が、ふるさと100・メモリアル広場で開かれ、多くの家族連れでにぎわいました。

会場ではサケやホタテなどの新鮮な魚介類や、雄武の食材を使ったオムライスやハンバーガーなどを販売。また、毎年恒例のサケのつかみ取りには、子どもから大人まで100人が挑戦。水しぶきを飛ばしながら、元気に泳ぎ回るサケを追いかけていました。



↑サケのつかみどりに挑戦する子どもたち

↓全校児童による遊戯「よっちょれ」を披露



10/6 沢木小学校学芸会 思い出に残る学芸会

「レッツ、エンジョイ！思い出に残る学芸会」をテーマに、沢木小学校で学芸会が行われました。

日ごろの練習の成果を披露しようと、全校児童が遊戯「よっちょれ」や伝統の沢木太鼓の演舞など、たくさんの演目を元気いっぱいに繰り広げました。会場に訪れた父母や地域のお年寄りなどからは、子どもたちの熱演に温かい拍手が送られ、和やかな雰囲気学の学芸会となりました。

↓ストレッチを実践する参加者



9/30 運動教室 心と体をリラックス

肩こりや腰痛の予防をテーマにした運動教室が町民センターで開催されました。

NPO法人健康保養ネットワークのフィットネスアドバイザー寺山恵理さんが講師を務め、「適度な運動で筋肉をほぐすと心も体もリラックスする」と座りながらできるストレッチや筋力トレーニングを紹介。音楽に合わせて楽しく体を動かした参加者は「普段の生活でも続けていきたい」と笑顔で話していました。

10/24 雄武高校見学旅行における雄武町PR活動 ふるさとをアピール

見学旅行中の雄武高校の生徒たちが、町商工会や観光協会、雄武漁協の支援を受け、京都駅前雄武町のPR活動を行いました。

法被姿の生徒たちは、観光パンフレットやホタテの干し貝柱、手作りの絵手紙などを配布。はじめは緊張した様子でしたが、だんだんと積極的に通行人に呼びかけるようになり、町の位置や特産品を紹介するなど、ふるさとをアピールしていました。



↑街頭で呼びかける雄武高校の生徒（写真提供：雄武高校）

↓式辞を述べる雄武漁協片川隆市組合長



10/5 雄武漁協合併50周年記念式典 団結の精神

雄武と沢木の漁業協同組合合併50周年を記念する式典が、町民センターで行われました。

式典では、雄武漁協が歩んできた50年の歴史を映像で振り返り、多年にわたって役員や部会長を勤めてきた人たちに表彰状・感謝状が贈られました。片川隆市組合長は「一人は万人のため万人は一人のため、団結の精神のもと組合の発展に努めて参ります」と式辞を述べていました。

10/13 社会福祉ふれあい広場 楽しい催しが盛りだくさん

障がい者と地域が交流を深めるふれあい広場が、町民センターで開催されました。（社会福祉協議会主催）

会場では、興部警察署や包括支援センター職員による脳の活性化体操や高齢者を狙う犯罪の手口を紹介する短劇、風の子キッズの一輪車演舞などが行われたほか、福祉団体やボランティアによるフリーマーケットなどが実施され、来場者は盛りだくさんの催しを楽しんでいました。



↑福祉団体によるフリーマーケット

↓放水活動に挑戦する子どもたち



10/18 消防士体験 小さな消防士たち

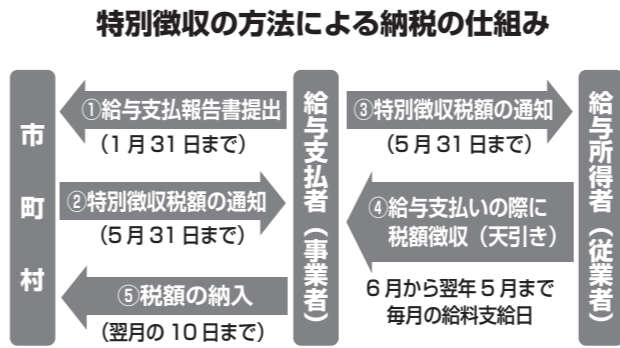
秋の火災予防運動の一環として、若草保育所で消防士体験が行われました。

子どもたちは、火災を想定した避難訓練を行った後、救急車の中を見学。初めて見る車両内部に興味津々の様子。その後、子どもたちは防火服とヘルメットを装着して消火活動を体験。風が強い寒空の中でしたが、子どもたちは放水活動に目を輝かせながら挑戦していました。

税金

個人住民税の特別徴収

オホーツク総合振興局と雄武町では、給与所得者の納税の利便性向上と個人住民税の適正かつ公平な課税・徴収を行うため、所得税の源泉徴収義務がある事業所を対象として特別徴収義務者に指定する取り組みを進めています。
特別徴収義務者に指定された事業主は、原則として26年6月から従業員の個人住民税を特別徴収(事業主が従業員給与から天引きして納入)



年金

年金額が引き下げられます

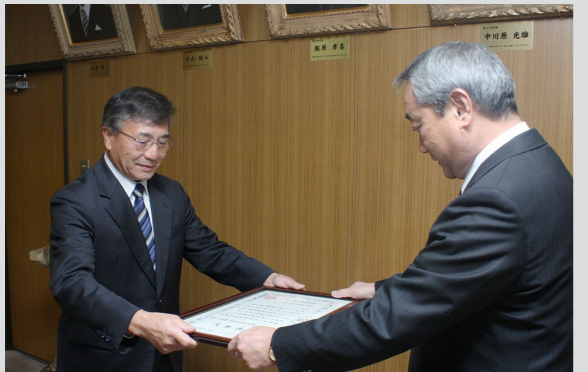
国の年金は、前年の物価変動率に合わせて翌年度から年金額が改定されます。(物価スライド)
しかし、平成11〜13年の物価下落時に、年金受給者の生活に配慮し、12〜14年度の年金額が特例的に据え置かれました。これを特例水準といい、それ以降は特例水準の年金額が支払われてきました。
現在の年金額は、物価下落

雄武漁協から町へ1千万円の寄付

10月5日(土)、雄武町民センターにおいて雄武漁業協同組合合併50周年記念式典が挙行され、雄武漁業協同組合(代表理事組合長 片川隆市)から町に対し、記念事業として1,000万円の寄付がありました。

町では感謝の意を表し、10月17日(木)、役場庁舎において雄武漁業協同組合に感謝状を贈呈しました。

町では、寄付金をパトロール車など車両2台の購入費のほか、ホテル日の出岬内に水槽を設けて雄武産の魚を展示する費用に充てる予定としています。



↑感謝状を受け取る片川隆市組合長(写真左)

することになりますので、普通徴収(従業員がそれぞれ納付)から特別徴収に切り替えたいただく場合があります。
指定対象となる事業所には11月から文書を送付します。

特別徴収のメリット

従業員(納税義務者)が金融機関で納税する手間が省け、滞納の心配がありません。また、特別徴収の納期は年12回となり、普通徴収(年4回)に比べて1回あたりの納税額が少なくなります。

資産課税「個別相談」

紋別税務署では、相続税や贈与税などの資産課税に係る個別相談について相談日を設けて行っています。
▼相談日 11月13日(水)・27日(水)
※事前予約により持参する書類などの説明をするほか、税務署で順番を待つことなく相談することが出来ます。

個人事業税第2期納期

個人事業税は、道内に事務所
0158・23・2191

所(事業所)があり、事業を行っている個人にその所得を基礎として課税される道税です。

税率

- 第1種事業(物品販売業、飲食店業など) 5%
第2種事業(畜産業、水産業など) 4%
第3種事業(医業、理美容業、クリーニング業など) 5%
第3種事業(あん摩・はり・きゅう業など) 3%

第2期納期

12月2日(月)

関紋別道税事務所

0158・24・2626

平成25年分年末調整説明会

- 日時 11月19日(火) 14時
場所 町民センター
持ち物 年末調整関係書類
※説明会前に送付済み。
※年末調整関係書類が不足する場合、会場で配布します。
関紋別道税事務所
0158・23・2191

社会福祉

特設人権心配ごと相談所

全国人権擁護委員連合会では毎年12月4日から10日まで

を「人権週間」と定めており、世界人権宣言の趣旨およびその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため、各種啓発活動を行っています。

11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待とは、親または親に代わり現に子どもを監護している保護者が、子どもに対して身体的な危害を加えたり、適切な保護や養育を行わないことなどによって、子どもの心身を傷つけ、健全な成長発達をそこう行為をいいます。子どもの心やからだに大きな傷を残すばかりでなく、発見が遅れるとかけがえのない命を奪うことにもなります。しつけとの違いは、たとえ親などがしつけと思っても、虐待かどうかはその行為が子どもにとって有害かどうかで判断します。子どもへの虐待については、虐待をしてしまう養育者の側にも、子育ての不安やいろいろな事情があり、家族全体が多面的な悩

関保健福祉課社会福祉係

児童虐待とは、親または親に代わり現に子どもを監護している保護者が、子どもに対して身体的な危害を加えたり、適切な保護や養育を行わないことなどによって、子どもの心身を傷つけ、健全な成長発達をそこう行為をいいます。子どもの心やからだに大きな傷を残すばかりでなく、発見が遅れるとかけがえのない命を奪うことにもなります。しつけとの違いは、たとえ親などがしつけと思っても、虐待かどうかはその行為が子どもにとって有害かどうかで判断します。子どもへの虐待については、虐待をしてしまう養育者の側にも、子育ての不安やいろいろな事情があり、家族全体が多面的な悩

保健

がん検診無料クーポン券

6月中旬に、がん検診受診率の向上とがんの早期発見・早期治療を目的として、一定年齢の人に乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付していますので、ぜひご利用ください。
▼利用期限 26年3月末まで
▼利用対象医療機関
・乳がん・子宮がん検診がん検診センター
J A 遠軽厚生病院

▼実施期間 26年3月末まで
▼対象者 26年3月末までに65歳以上になる人(福祉施設入所者、25年度中に胸部レントゲン検査を実施した人は除く)
▼料金 無料
▼実施内容
結核検診
実施場所
・国民健康保険病院
84・2517
・山口クリニック
84・2776
※各医療機関へ予約が必要。
関保健福祉課保健係

みを抱え、援助を必要としています。周囲から養育者だけへの一方的な非難は、かえって家庭を孤立させ、問題が悪化する可能性があります。私たちは社会全体で子どもを守っていかねばなりません。子どもを助けたいと思う一報が子どもの命を救い、家族全体を救うのです。

冬の交通安全運動

期間 11月14日(木)〜23日(土)
交通安全事故防止ポイント
・高齢者の交通事故防止
・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
・凍結路面などのスリップ事故の防止
・交差点の交通事故防止
・飲酒運転の根絶
関興部警察署
0158・82・2110

防犯

関保健福祉課社会福祉係

関北見児童相談所
0157・24・3498

広域紋別病院
大腸がん検診
国民健康保険病院
山口クリニック
町の集団検診(26年1月25日(土)〜26日(日))国民健康保険病院で実施予定)
関保健福祉課保健係

インフルエンザ予防接種

実施期間 12月30日(月)まで
対象者 接種日に65歳以上の人、または60〜64歳の人で一定の心臓、じん臓、呼吸器などの障がいのある人
料金 1000円
実施内容
インフルエンザワクチン接種

胸部レントゲン撮影

実施場所
・国民健康保険病院
84・2517
・山口クリニック
84・2776
※各医療機関へ予約が必要。
関保健福祉課保健係

この日の健康相談

紋別保健所では、広域紋別病院精神科医師によるこの日の健康相談を実施します。
日時 11月11日(月)、26年1月20日(月)、3月10日(月)
15時〜17時
場所 紋別保健所
関紋別保健所健康推進課

小児用肺炎球菌予防ワクチン接種

小児用肺炎球菌予防ワクチン接種は、11月1日接種分以降、現在使用している7価ワクチンから、13価ワクチンに変更となります。すでに、7価ワクチンで接種を開始している人は、残りの接種回数のみを13価ワクチンで実施してください。13価ワクチンの接種については、厚生労働省ホームページ「小児肺炎球菌ワクチンの切り替えに関するQ&A」をご覧ください。
関保健福祉課保健係



町営住宅入居者募集



宮下団地(昭和60年建設) 1戸 3LDK
潮見団地(昭和36年建設) 1戸 2DK(単身可)



教育

新入学児童就学時健康診断

申込方法 申込用紙に収入がある人の前年分の源泉徴収票または確定申告書の写し、住民票記載事項証明書、納税証明書(町外者のみ)を添えて提出してください。
申込期限 11月15日(金)
選考方法 申込者多数の場合、住宅困窮度の高い人から決定します。
町税などに滞納がある場合、居できない場合があります。
※政令月収(給与所得者は1年間の給与所得控除後の金額に、自営業者は1年間の事業所得から必要経費を控除した金額に、扶養控除な

別表(オ、カは就学前の子どもがいる世帯、高齢者・障害者世帯に限る)

Table with columns: 政令月収, 家賃, 潮見団地, 宮下団地. Rows: ア, イ, ウ, エ, オ, カ.

どを行ない、12で除したものを。
町営住宅入居者募集

町営住宅入居者募集
町営住宅入居者募集



お祝い

長寿おめでとうございます

白寿(99歳)、上寿(100歳)を迎えられた人に、10月21日(月)、町長から祝い金と祝い状が贈呈されました。
おめでとうございます。
三河マツミさん(白寿)
佐藤 フユさん(上寿)
町長から祝い金を受け取る三河さん



↑町長から祝金を受け取る三河さん



募集

平成26年度入校生
国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい



↑小型動力ポンプ積載車



消防

住宅用火災警報器の不具合
種類 ホーチキ株式会社
型式 SS-2LIA-10HC
製造時期 平成20年1月〜3月製造分
町ホーチキ株式会社
0120-998-882
消防車両・機材の更新
雄武消防団第2分団(幌内)に小型動力ポンプ積載車が配備され、第3分団(沢



その他

北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展
雄武町人権擁護委員会では、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」(毎年12月10日〜16日)の取り組みとして、パネル展を開催します。
日時 12月4日(水)〜9日(月)
場所 町民センター
町保健福祉課社会福祉係
電気計器の期限は切れてませんか
貸しビルやアパートなどに設置している電気計器(子メーター)は、計量法で定める検定有効期間内のものでなければ使用できません。
使用できる期限は、計器類に添付している「検定ラベル」や「検定票」に表示してありますので確認してください。
町日本電気計器検定所北海道支社
011-668-2437

地区別町政懇談会

町民の皆さんの声を町政に反映させるため、次のとおり地区別町政懇談会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。
共栄・中雄武・上雄武地区
11月11日(月) 13時30分
共栄福祉館
幌内地区
11月12日(火) 13時30分
幌内歴史と生活の家
沢木・元沢木地区
11月12日(火) 18時
沢木住民センター
市街地区(開生〜幸町)

市街地区(末広町1区〜曙)

11月18日(月) 18時30分
地域交流センター
11月25日(月) 18時30分
地域交流センター
魚田・豊丘・青葉地区
11月26日(火) 14時
音稲府地域住民センター
※栄丘地区の開催日は未定。
町総務課庶務係

教育委員長、職務代理者選任

教育委員長および教育委員長職務代理者は、法令により毎年選任することとされており、10月1日に開催した第9回教育委員会会議において、

多重債務・金融一般相談会

北海道財務局では、借金返済の悩みを抱えている人の相談を受け付け、専門の相談員が解決方法を提案しています。また、預金や融資、保険、貸金、投資商品などの金融商品・サービスに関する質問や相談も受け付けています。

次の日程で相談会を開催しますので、気軽にご利用ください。
日時 11月22日(金) 9時〜17時
※受付は16時まで。
場所 北見地方合同庁舎(北見市青葉町6番8号)
町北海道財務局相談員直通
011-807-5144

林業退職金共済制度(林退共)

林業の仕事をしてきたことがありませんか。林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない人を探しています。以前、林業の仕事

雄武町職員人事異動

10月1日付(内は前職)
産業振興課水産係主査
小野 隆行(同係)
10月15日付(内は前職)
保健福祉課社会福祉係
上野 はるか(会計管理者補助組織会計係兼物品出納係)

雄武町新規採用職員

国民健康保険病院 看護師
小野 亜衣里



平成25年度 読書感想文コンクール 入賞者発表

小学校1年生の部
最優秀賞 中村 のあ(共栄)
優秀賞 高橋幸之介(豊丘) 花松 明奈(豊丘)
佳作 橋本 北飛(豊丘)

小学校2年生の部
最優秀賞 平田 崇(共栄)
優秀賞 池田 萌音(雄武) 樫山 菜(雄武)
佳作 竹田 純菜(沢木)

小学校3年生の部
最優秀賞 石井 優輝(共栄)
優秀賞 中 頼我(幌内) 古山 凜(幌内)
佳作 五十嵐樹音(雄武) 武藤 知哉(雄武)

小学校4年生の部
最優秀賞 石橋 美咲(雄武)
優秀賞 神野 遥(雄武) 田川 勇樹(共栄)
佳作 碓谷 陽(雄武) 館山 友翔(沢木)

小学校5年生の部
最優秀賞 永井 梨湖(雄武)
優秀賞 小西 遼河(雄武)
佳作 佐々木琉音(豊丘) 和田 樹奈(雄武)

小学校6年生の部
最優秀賞 尾田 颯郁(共栄)
優秀賞 高野 飛陽(幌内) 新山 絢介(幌内)
佳作 淡路 巴奈(雄武) 久慈 力椰(雄武)

中学生の部
最優秀賞 碓谷 響(1年)
優秀賞 金澤 莉沙(1年) 中村 駿介(1年)
佳作 越後谷優斗(1年) 牧野 七星(1年)
(敬称略)

冬の生活支援します

いよいよ本格的な冬がやってきますが
暖房費や衣料品など
何かと冬の生活は厳しいものがあります。

町では灯油や暖房器具、冬用衣料などの購入に際し
対象となる世帯へ
一世帯あたり一万五千円分の助成券を交付します。

最初に対象世帯から申請をしていただき
申請書の受理後に

住所や世帯状況、課税状況などの審査を行います。

審査の結果、対象となった世帯については
郵送にて「助成券」を交付します。

※本人が申請できない場合は、代理申請もできます。

●該当世帯（すべてに該当）

- ▼雄武町に住民登録している世帯（11月1日現在）
- ▼町民税非課税世帯
- ※次の世帯は対象外
 - ・生活保護世帯
 - ・福祉施設等入所者世帯
 - ・医療機関入院者世帯

●対象条件（いずれかに該当）

- ▼70歳以上の高齢者で構成され、生計が独立している世帯（11月1日現在）
- ▼次の障害者手帳の交付を受けている人がいる世帯
 - ・身障者手帳（1級または2級）
 - ・療育手帳（A判定）
 - ・精神保健福祉手帳（1級）
- ▼生計が独立したひとり親世帯
- ※平成7年4月2日生まれ以降の児童を養育している世帯

●助成券の交付

1世帯につき、10000円分の助成券を15枚交付します。

●助成券で購入できる品目

- 灯油、石炭、まき、暖房器具
- 冬用衣料、防寒具
- ※町が指定する取扱店でのみ使用可能（助成券裏面に記載）
- ※おつりは支払われません。

●申請期間

11月11日（月）～26年2月28日（金）
※土日・祝日を除く。

●申請窓口

役場庁舎別館

●臨時申請窓口

- ▼11月14日（木）
- 9時～11時30分
- 沢木住民センター
- 13時30分～15時30分
- 日の出寿の家

●申請書類

- ・印鑑
- ・保険者証または身分のわかるもの（免許証など）
- ・障害者手帳など（持っている人のみ）

●助成券使用期限

26年3月20日まで

●問い合わせ

保健福祉課社会福祉係
84・2023

なるほど！くらしの法律相談

<第19回>



原田 宏一 弁護士

前回、残業代請求についてお話をしました。今回は、解雇についてお話をします。例えば、これまで勤務していた会社を突然クビにされた場合、どのように対応したらよいでしょうか。

解雇とは、使用者による一方的な労働契約の解約のことをいいます。解雇は、労働者の生活を脅かす重大な問題です。そのため、労働契約法は「解雇は、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合には、その権利を濫用したものとして、無効とする」と規定しています。つまり「合理性」と「相当性」がない解雇は、権利の濫用として無効となるのです。就業規則に書いてあれば解雇できるとか、解雇予告手当を支払ったから解雇できるというのは誤った考えなのです。ちなみに、労働者を解雇しようとする場合、少なくとも30日前にその予告をしなければなりません。解雇

予告をしない場合は、30日分以上の平均賃金を支払わなければならないとされています。解雇予告手当といいますが、これを解雇予告手当といいますが、解雇の無効について裁判所は、「相当性」を厳格に判断する傾向にあります。例えば、解雇の理由として「業務能力が著しく劣り、または業務成績が著しく不良のとき」と挙げられる場合があります。しかし、不良の程度が著しい場合に限りならずし、相対評価が低いというだけでは解雇事由に該当しません。また、たとえ能力や適性に問題があったとしても、教育訓練や配置転換などの解雇回避の措置を尽くす必要があります。

突然クビになって解雇を争う場合、まずは会社に対して解雇理由を明らかにするよう求めましょう。また、就労の意思を明確にし、退職金を受け取るなど退職を前提とした行動は控えるべきです。そして、労働局のあっせん手続きや裁判手続きを利用して解雇を争います。しかし、裁判手続では時間がかかるため、最近では3回以内で審理が終了する「労働審判」を利用するケースが増えています。突然の解雇を言い渡されてもあきらめず、まずは労働基準監督署や専門家に相談してみましょう。

無料法律相談会（事前予約制） ☎ 0158-26-2277 ◎ 11月21日（木）・12月19日（木）13時～16時 会場 地域交流センター2階会議室

図書館情報



雄武町図書館 ☎ 84 - 2404
10時～19時（火～金曜日）
10時～18時（土・日曜日）
休館日 月曜日・祝日
（火、日は12時～13時まで施設）

newly-imported books

タモリ論

樋口 毅宏

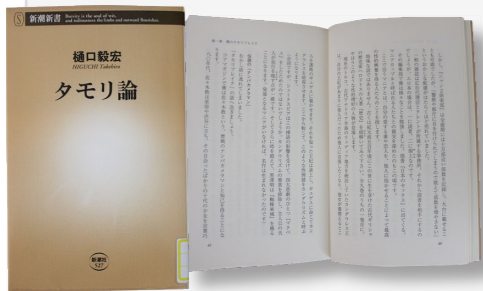
タモリの本当の「凄さ」とは！？
出生や私生活にまつわる伝説、
ビートたけしや明石家さんまとの比較、
私的な場面など、秘蔵の「タモリうんちく」
を駆使して、その謎めいた正体に迫る！

さくさくパンダ ①～②

さくぱんブック制作委員会

人気のチョコレート菓子「さくさくぱんだ」のキャラクターが登場する、かわいくて楽しい5つのお話を紹介します！
ゲームやマンガ、絵描き歌なども収録。

今月の新着図書



新着図書（一般書）

2013Jリーグ全選手名鑑・地図とデータでよくわかる日本史・老後のお金・命の往復書簡（千住真理子・文子）・伝える。言葉より強い武器はない（栗山英樹）・アニバーサリー（窪美澄）・さきちゃんたちの夜（よしもとばなな）・眺めのいい人（伊集院静）・見上げた空の色（宇江佐真理）・雨月物語（岩井志麻子）・十津川警部 EF63 形機関車の証言（西村京太郎）・特捜部 Q キジ殺し（ユッシ・エーズラ・オールスン）

新着図書（児童書）

ジュエルペット魔法の杖プチデラックス・新島八重物語（藤本ひとみ）・怪人二十面相（江戸川乱歩）・なんでも魔女商会㊟（あんびるやすこ）・タラ・ダンカン㊟上下（ソフィー・オドゥワン＝マミコニアン）・統計・資料で見る日本地図の本①～⑧・えりも砂漠を昆布の森に（川嶋康夫）・聖☆おにいさん㊟（中村光）・シャボンだまのきせき（チョコザイ）・ぴよちゃんのおつかい（いりやまさと）・あいすることあいされること（宮西達也）

みんなの ひろば

社交ダンス愛好会会長

浜谷 隆 さん(魚田)

広がっていくダンス仲間の輪



10月26日、町民センターで開かれた社交ダンスパーティーには、地元をはじめ稚内や旭川、名寄などの愛好者延べ120人が参加し、軽やかなステップで踊りを楽しんだ。社交ダンスを始めたのは、今から40年前の18歳のとき。愛好会に所属していた友人に誘われたのがきっかけだった。「当時は若い会員も多く、スポーツと交流の場といった感じでした。社交ダンスを始

めてから友人がたくさんでき、妻と知り合うきっかけにもなった」と青春時代を振り返る。

現在、愛好会の会長を務め、会員は24人。「週に1回、2時間ほど練習を行っています。会員同士、いつも楽しみながら踊っています」。

社交ダンスには、ワルツやルンバ、チャチャなど決まったステップがあり、そのステップを覚えていけば初対面

クローズ
アップ
まちのひと

の人とも踊ることができるといふ。各地で開催されるパーティーに参加して全道各地に友人ができました。社交ダンス仲間の輪が広がっていくところが一番の魅力ですね。最初はみんなで楽しむ社交ダンスに取り組んでいたが、次第に本格的な練習に取り組むようになった。9月に名寄市で開催されたパーティーでは、広い会場内を1組ずつ踊るデモダンスを披露。「スローフォックスロット」というダンスを習得するため、約1年間練習しました」と情熱を燃やす。

「社交ダンスは全身の筋肉を使うので運動量が高く、次に何をしなければならぬか考えながら踊るので、頭を使います。楽しみながら続けて、健康も維持していきたい」。会では、社交ダンスに興味のある人を募集している。問い合わせは浜谷さんまで(☎84・3164)。

フレッシュトーク



若草保育所勤務
保育士 逢見 世奈 さん(日の出町)

「保育士になるのが夢だったんです。幼少のころから自分よりも小さい子どもたちの面倒を見ることが多く、小学1年生のときにはすでに保育士になりたいと思っていたという。室蘭市出身。北海道福祉教育専門学校を卒業し、今年の4月から若草保育所に勤務している。現在は4歳の子どもたちを担当し、「みんな個性があるので大変なところもありますが、『先生、大好き』って言われるとすごくうれしいですね」と念願の保育士の仕事にやりがいを感じている反面、「学生時代に保育実習を体験しましたが、実際に働いてみると子ども

対応できる幅を広げていきたい

もたちに対する責任の重さを強く感じています」と心境を話す。「子どもたちの行動に対する声かけに正解はありませんが、聞き方や伝え方で理解の度合いが変わってきます。常に向上心を持って保育に関するいろいろな知識を増やし、対応できる幅を広げていきたいですね」と笑顔で今後の目標を話してくれた。

♥性格 マイペース
♥好きな男性のタイプ
思いやりのある人、相手の気持ちを考えられる人

→「電柱のある風景」

尾田 颯郁くん(6年)

↑「シマヘビ」

平田 崇くん(2年)

↑「レッサーパンダ」

中村 のあさん(1年)

わんぱくキッズ

おおきくなったら
～若草保育所～

恐竜カーニバル

いい
なおき くん

ももいろ
クローバーZ

はせべ
くれあ ちゃん

牛舎の
仕事がしたい

よしざわ
こうへい くん

広報おうむ 28

11月 イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
		♡栄養講話 (地域交流センター) 13:00～ ☆ミニバレー 16:00～	※仲良し親子教室 10:00～	※はじめての誕生日会 10:00～ ☆一輪車検定 16:00～	※仲良し親子教室 10:30～	♣キンボール大会 (スポーツセンター) 9:00～ ☆一輪車検定 10:00～
10	11	12	13	14	15	16
	※仲良し親子教室 10:00～ ●地区別町政懇談会 (共栄福祉館) 13:30～	●地区別町政懇談会 (堀内歴史と生活の家) 13:30～ (沢木住民センター) 18:00～	♣新入学児童就学時健診 (雄武小学校) ※仲良し親子教室 10:00～	☆けん玉検定 16:00～	※仲良し親子教室 10:30～	☆ルンルンクッキング 9:30～
17	18	19	20	21	22	23
☆休館日	※仲良し親子教室 10:00～ ●地区別町政懇談会 (地域交流センター) 18:30～	※読み聞かせフムの会 10:30～ ●年末調整説明会 (町民センター) 14:00～ ☆ミニバレー 16:00～	※仲良し親子教室 10:00～ ☆読み聞かせフムの会 15:00～	♡乳幼児健診 12:30～ ★京都大学学びセミナー (雄武高校) 13:20～	※仲良し親子教室 「助産師子育て講話」 10:00～	☆一輪車教室 10:00～
24	25	26	27	28	29	30
☆風の子ギネス 14:00～	※仲良し親子教室 10:00～ ●地区別町政懇談会 (地域交流センター) 18:30～	●地区別町政懇談会 (首稲府地域住民センター) 14:00～	※仲良し親子教室 (児童センター) 10:00～	♡フッ素塗布 (子育て支援センター) 10:00～	☆移動児童館 (沢木住民センター) 10:00～ ☆サッカー教室 14:00～	
12/1	2	3	4	5	6	7
♣子どもの主張発表会 (町民センター) 13:00～	※仲良し親子教室 10:00～		※仲良し親子教室 10:00～ ●特設人権心配ごと相談 (役場庁舎別館) 13:00～		※仲良し親子教室 10:30～	☆移動児童館 (首稲府地域住民センター) 10:00～

国保病院情報

(小児科と耳鼻咽喉科は、日程が急遽変更する場合があります)

内科 (服部医師)	毎週月～水曜日の診療となります。
内科 (高井医師)	毎週木・金曜日の診療となります。
外科・消化器科 (花田医師)	不在の予定はありません。
整形外科 (片岡医師)	不在の予定はありません。
小児科	毎週月曜日が1日、金曜日が午後のみ診療となりますが、4日(月)は祝日・休診のため、5日(火)の診療となります。
耳鼻咽喉科	14日・28日の14時から17時までの診療となります。

◎受付診療時間 8:30～12:00 (受付11:30まで) 13:30～17:15 (受付16:15まで)

オホーツク紋別空港ダイヤ

(11月1日～30日)

57便 羽田発 9:30～新千歳着11:05	4891便 新千歳発11:50～紋別着12:40
4892便 紋別発13:20～新千歳着14:05	66便 新千歳発14:30～羽田着16:10
◎お得な運賃プラン (利用不可期間あり)	
乗継旅割 (出発の2か月前から28日前までに予約・購入)	片道 13,300円～
乗継特割 (出発の2か月前から7日前までに予約・購入)	片道 31,500円
特定便乗継割引 (出発の2か月前から当日までに予約・購入)	片道 38,300円

※羽田空港施設利用料金一区分170円が上記利用運賃に加算されます。

◎役場 284・2121 ◎保健福祉課 284・2003 ♣教育委員会 284・4240 ☆児童センター 284・3735 ☆子育て支援センター 284・4366 ★雄武高校



◎中学生の学校見学会

10月8日(火)、5、6校時に雄武中学校をはじめとする近隣の中学3年生を招き、学校の見学、説明を行いました。入試を控える中で、進路決定の参考となるように行いました。中学生は、高校教員による英語と数学の授業を体験し、高校生の授業を参観した後、部活動の見学を行いました。参加した生徒からは、中学校と高校の違いがよくわかったという声がありました。

◎2学年見学旅行終了 雄武町PRも大成功

10月21日(月)から4泊5日で行われた見学旅行は、所期の目的を達成して29人が元気に帰校しました。1日目と2日目の東京では、自主研修を楽しみスカイツリーに登りました。3日目は奈良で東大寺をはじめとする寺社仏閣を訪ね、歴史と伝統を体験しました。4日目の一日自主研修では、大阪のユニバーサルスタジオまで旅をするグループもあり、関西を丸ごと味わったものと思

11月の行事予定

8日(金)	進路ガイダンス
12日(木)	進学相談会
14日(土)	進路ミュージカル
20日(木)	学校評議員会
21日(金)	京都大学学びセミナー
22日(土)	中高研修交流会
25日(月)	校内清掃日
27日(水)	後期中間考査(～29日(金))
29日(金)	自動車学校通学解禁、防災点検日

ます。中でも4日目の朝に行った雄武町PR活動では、雄武町の観光パンフレットに昆布とホタテを加え、京都の人たちに1人ずつ手渡ししました。雄武町あげてのご協力に感謝しています。

◎京都大学学びセミナー実施

11月21日(木)、本校体育館で京都大学学びセミナーを実施します。京都大学では、全国の高校生に出前授業を行い、大学の学問や雰囲気伝える企画として本年度から始めるものです。雄武高校でも大学進学を中心に進路を考えている生徒が多く、学問への意欲喚起へ大きな刺激となることを期待しています。講師には京都大学教育学研究科の浦田悠氏をお迎えし、「心理学で人の心はわかる?」(3学年)、「ポジティブ心理学入門」(1、2学年)と学年別にテーマを分けて受講します。なお、放課後には希望者を対象に京都大学や京都の紹介も行います。当日は13時20分から体育館で行いますので、保護者はもちろん、一般の人もおいでください。

地域包括
支援センター
だより

転倒・骨折を予防しましょう

朝晩気温の低い日が続いていますが、皆さん防寒具に加え、靴の衣替えはしましたか？

この時期、時間帯や場所によっては路面が凍って滑りやすいところがありますので、外出時は十分注意して歩きましょう。また、家の中でも段差につまずいたり、バランスを崩して転ぶことがあります。転ぶと骨折につながることも多く、寝たきりの要因となります。

日ごろから足腰の筋力やバランス機能を高めておくことが大切ですので、転倒予防の運動について紹介します。

- イスに腰掛け、片足ずつ床と平行になるまでゆっくり持ち上げ、5秒間停止した後ゆっくり下ろす。(片足5～10回)
- 両足を肩幅に開き自然に立つ。歩幅を開いたり閉じたりしながら横に歩く。転倒に注意して、足を交差しながら行っても効果的です。(3～5回)

家族や知人で転ぶ心配の高い人などがいたら、当センターへご相談ください。

地域包括支援センター(庁舎別館)
☎ 84 - 4495
電話相談は24時間受け付けています



☎ 人口と世帯数 (10月31日現在) ※住民基本台帳人口

人口	人(前月比)	人減)
男	人(前月比)	人減)
女	人(前月比)	人減)
世帯数	戸(前月比)	戸減)

☎ 戸籍の窓口 (10月1日～10月31日届出分) ※敬称略

☆こんにちは赤ちゃん (出生)

堀田	健太郎 (次太郎・愛美/男/日の出仲町)
永井	陽大 (司・浩子/男/曙)
亀田	海音 (雄太・優菜/女/緑町)
吉田	一晴 (隆志・さやか/男/新日の出町)
吉田	亮一 (隆志・さやか/男/新日の出町)

●お悔やみ申し上げます (死亡)

坂本	フミ子	83歳	(潮見町)
一ノ戸	養之丞	90歳	(元沢木)
吉田	時子	89歳	(北浜町)
池田	富雄	79歳	(魚田)
松田	俊一	46歳	(魚田)
工藤	ツヤ子	86歳	(宮下町)
高橋	義信	88歳	(新町)

※出生は誕生日を含めて14日以内、死亡は死亡を知った日から7日以内に届出をしてください。

☎ 寄付 (9月26日～10月25日受付分) ※敬称略

◎香典返しを廃して (社会福祉協議会へ)

吉田 徹 (北浜町)

◎社会福祉のために (社会福祉協議会へ)

雄武カラオケ愛好会 代表 畔川 健一
栄丘カラオケ愛好会 会長 照井 秀治
大昭石油株式会社

☎ 社会保険出張相談 (事前予約制) 0157-33-6007

11月28日(木) 9:00～15:00
会場 紋別市民会館

☎ 今月の町税の納期

固定資産税 (第4期)
国民健康保険税 (第5期)

※口座振替日は、11月28日(木)です。

☎ 不動産無料相談 (事前予約制) ☎ 0157-61-1565

11月22日(金) 13:30～15:00
(社)北海道宅地建物取引業協会北見支部

☎ 名寄労働基準監督署紋別分室 (労働条件に関する相談、労災加入等の手続)

11月25日(月) 13:00～17:15
会場 紋別市港湾合同庁舎内
紋別市新港町2丁目28-2

☎ 自動車運転免許更新時講習

11月21日(休) 雄武町民センター
優良運転者講習 12:30～13:00
違反運転者講習 13:20～15:20
※事前に更新手続きが必要となります

☎ 役所への苦情、意見、相談 ☎ 84-3402

行政相談所 11月12日(火) 13:30～15:30
役場1階 町民ホール
行政相談委員 近江谷 春夫 (末広町2区)



雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、
先祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、
ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、
まめやかに、励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある
生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守
りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくりまします。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりまします。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりまします。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりまします。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となりまします。

昭和四十六年三月十九日制定



編集後記

♣ 今年は近年になく台風が発生し、平成6年以来19年ぶりに30個を超える可能性が出ています。先日伊豆大島を直撃した台風26号では、土石流により30人以上の尊い命が奪われました。幸い雄武町への影響はありませんでしたが、日ごろからの備えと早めの行動が重要だと再認識されました。(樋山)

♠ 今月の特集記事。機会があれば、ぜひ町公式ホームページのカラー版もご覧ください。今回の取材で貴重な経験ができたのも、一重に取材に協力していただいた皆さんのおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。これからも身近な話題を発信していきたいと思えます。(落合)

★先日、町の基幹産業の一つである水産業について学ぶため、雄武漁協の水産加工場で研修を受けさせていただきました。加工場の人たちの丁寧で迅速な作業によって、雄武産のサケやホタテが各地に届けられていることを実感しました。(作田)